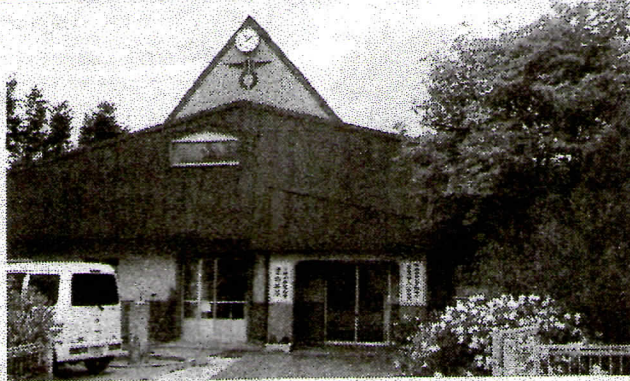


地域とつながる福祉事業所紹介

「台地の駅 御牧原岩井屋」  
（東御市御牧原）

「誰もが自宅のように日常生活を送ろう」と、同一敷地内で複数の福祉サービスを提供する、富山型デイサービスを行う東御市のNPO法人「普通の暮らし 研究所・岩井屋」は、新たに「台地の駅 御牧原岩井屋」をオープンした。市内の旧御牧原保育園を再利用し、地域共生型の事業所として活動を開いていく。建物の改修工事が完



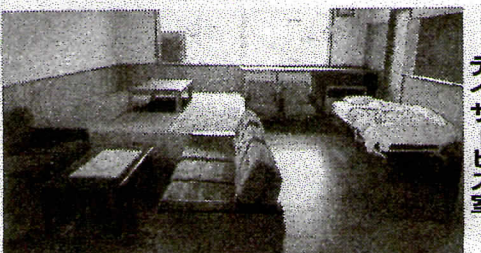
赤い三角の屋根が目印。眺望抜群の御牧原の台地で旧施設を再利用し、新たな地域コミュニティを展開する

了した5月に、竣工開所式を挙げる。食堂・談話室、デイサービス室（大人・児童）、就労支援作業室、浴室・休養室があり、目的に沿った居心地のよい空間とした。今まで岩井屋が行ってきた障がいのある人や高齢者・児童のデイサービス、障がいのある人の就労支援に加え、

二ト・ひきこもりへの支援も検討している。就労支援活動としては、コーヒー焙煎に取り組み、地域コミュニティスペース及び食堂で喫茶・軽食サービスを行う。広い庭では地域のイベントも開催し、地域の人が気軽に立ち寄れる場所として機能させていく。また将来



食堂・談話室。利用者だけでなく地域の人も利用できる



旧遊戯室は児童デイサービスに使用。旧園庭も含め、のびのび活動できる



旧遊戯室は児童デイサービスに使用。旧園庭も含め、のびのび活動できる

的には道の駅のように直売所を設置するなど、地域活性化の拠点となることを目指す。場所は千曲川ビューライン沿い、ふれあいトロニックセンターほたるの湯隣りに位置。地元住民にとっては親しみのある場所で、「赤い三角屋根の建物の止まっていた時計が

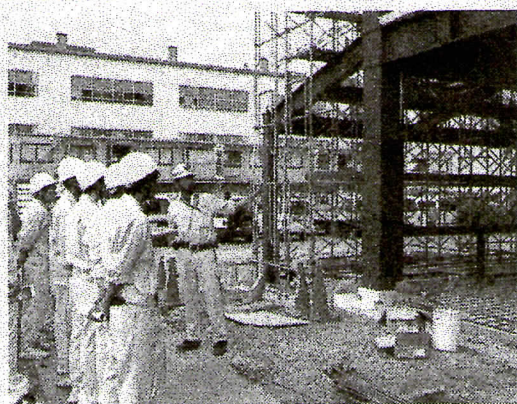
動いたと、地元の皆さんが喜んでくれた」と、岩井孝司理事長は話す。さらに「私自身が病気で体が不自由になったことで、地域の支援の有り難さ、つながりの大切さ

ことが生まれてくれば嬉しい」とし、「さらにはビューラインを通る車が立ち寄り、『また来たい』と思える場所にした」と語った。6月2日から活動をスタートしている。



庭から立ち寄ることができる地域コミュニティスペース。美味しいコーヒーを提供

を痛感していると言います。これから少しずつ夢を実現させていくと話します。岩井理事長。また「地元の方の皆さんとの関係構築に努力する。そのなかで利用者さんが地域に出ていき、お手伝いできる



担当者から工事についての話しを聞く

地区の県道別所丸子線歩道整備現場を見て回った。第二中は平成27年3月の完成を目指し、25年10月から改修工事が始まり西棟、北棟、南棟に分けて工

学習に生かしてほしい」とし、「目の当りに現場を見ると、生きた実習になる」と話す。上田建築事務所・大塚新市技術専門員は、地元の事業所の活動を知ってもらい、就労支援につなげたい。建設業への魅力を感じてもらえるように、インターンシップにも力を入れていると話している。

東御市・アメリカ姉妹都市友好協会（町田千秋会長）総会はこのほど、市中央公民館講義室で開催した。町田会長は協会も改革をしていかなければいけない。名称変更も考えたいとあいさつ。その後、25年度に行つた中学生ホームステイ派

遣事業、地域内交流事業、高校生ホームステイ派遣事業、国際交流の集い、会報発行など事業内容を報告した。この日は、高校生ホームステイ派遣事業10泊12日）でマドラス市へ行った高校生6人が報告。全員が英語で自己紹介し



映像を使い報告する高校生

池田節子さんを選出した。おくりやみ 坂城町 林 仁志（はやしひと）さん 12日。67歳。森工房社長。自宅は坂城町大字坂城。葬儀は15日（日）午後1時、上田市常磐城のさがみ典礼上田法事センター。喪主は長男で会社員の林健太郎（けんたろう）さん。